

## ヨウ素デンプン反応の色は、青紫色だけではない！「本当？うそ？」 超発展「時計反応」も体験 学習指導要領発展ワークショップ 3月12日

小学校5・6年生で、デンプンを学びます。その有無を調べる方法としてヨウ素デンプン反応があります。教科書にでてくるのは、青紫色だけ。果たして本当だろうか？第1部では、参加者にそれを調べてもらいました。当館が用意した片栗粉やコーンスターチ、もちとり粉、紙など15種類、さらに各自が持参したものを合わせると25種類以上。

結果は？青紫色ではなく赤紫色に反応するデンプンが見つかりました。コーンスターチやもちとり粉です。なぜでしょうか？この理由を知るためには、デンプンのつくり（構造）の違いに触れなければわかりません。水に溶かした胃薬をたらしておいたら、ヨウ素デンプン反応の色が消えました。この理由もデンプンのつくりから考えると理解できます。「アミロース」や「アミロペクチン」といった専門用語で解説しました。

参加者のAさんからは、「アミロースなど、今後もっと詳しく調べてみたい」と前向きな感想がありました。

そして第2部は「時計反応」。当館のサイエンスショー（2月）でも扱っている実験です。参加者全員に体験してもらいました。将来、科学部等での活躍を期待して・・・。

体験活動の画像がホームページに載せてあります。ぜひ、ご覧ください。（イエローマン）



### 天体望遠鏡で星を見よう

#### 「まちぼし(街中の星見会)」を開催

4月9日（土）に「まちぼし（街中の星見会）」が行われました。まちぼしは、プラネタリウムでその日見える星空を学習し、そのあと外に出て実際に天体望遠鏡で星を観察します。

まちぼしは毎年開催していますが、リピーターも多く今年度最初のこの日には多くの参加者が集まり大変にぎわいました。

参加された方は大きな望遠鏡で見る月の姿にびっくりしたり、街中で見られる星たちを探して楽しんだりしていました。今回は、初おひろめした天体望遠鏡もあり、オリオン大星雲を皆さんに見ていただきました。

まちぼしは、月に一度程度開催しています。ぜひご家族やお友達を誘ってお越しください。



### ワークショップ「パタパタ翼竜を作ろう」



3月21日（月祝）に翼を上下にパタパタしながら前進する翼竜のおもちゃを製作するワークショップを開催しました。午前・午後と開催し、小学5.6年生11名の参加がありました。

翼が動く仕組みは「逆カム」です。カムにより棒が

上下運動し、翼を押し上げたり下がったりしてパタパタ動きまわります。

翼がうまく動くようになるまで時間をかけてじっくりと取り組みました。難しい部分もありましたが、全員が作り上げることができました。

参加者からは「仕組みもおもしろかった。楽しくてワクワクしました」「細かい作業があって大変だったけどとても楽しかった」などの感想を寄せてくれました。

### ★天文トピックス「夜空で北斗七星を見てみよう」



みなさんは「北斗七星」を夜空で見たことはありますか？この時季、北の空に横たわるように見える、おおぐま座のおしりからしっぽにかけての星ならびです。

北斗七星は、北にある7つの星のひしゃくという意味があり、その名の通り7つの星が水をくむ道具「ひしゃく」の形を作っています。

しかしよく見てみると、持ち手の端から2番目の星の横に、寄りそうように見える暗い星があります。明るい星は「ミザール」（2等星）、暗い星は「アルコル」（4等星）という名前がついています。昔のアラビアでは、2つの星が見分けられるか兵士の視力検査として使われたこともあるそうです。

天候や、街明かりの影響もありますが、自分の目で見分けることができるかどうか、夜空でチャレンジしてみてください。

